



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 株式会社ネクストジェン 上場取引所 東
 コード番号 3842 URL <https://www.nextgen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員 社長 (氏名) 大西 新二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 天田 貴之 TEL 03-5793-3230
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	620	8.8	△186	—	△187	—	△182	—
2019年3月期第1四半期	570	—	△121	—	△122	—	△88	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △184百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △88百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△88.36	—
2019年3月期第1四半期	△43.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,458	1,516	43.0
2019年3月期	3,673	1,691	45.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,485百万円 2019年3月期 1,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	0.00	—	—	—

(注) 1、直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2、2020年3月期の配当予想に関してましては、中間配当は無配、期末配当については未定とさせていただきます。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500 ～4,300	9.7 ～34.8	70 ～190	48.6 ～303.4	65 ～185	56.7 ～345.9	40 ～115	32.6 ～281.3	19.45 ～55.90

（注） 1、直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2、2020年3月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	2,073,000株	2019年3月期	2,057,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	164株	2019年3月期	133株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	2,064,293株	2019年3月期1Q	2,033,160株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、大手移動通信事業者向けセキュリティ診断案件の減少がありましたが、5Gの本格運用に向け大手移動通信事業者へモバイルネットワークの仮想化ソリューション案件の販売や、子会社において大手企業向けにVOICEMARKの販売増加があったことにより売上高は、620,489千円（前年同四半期比8.8%の増加）となりました。

損益面につきましては、売上高においてセキュリティ診断案件の減少に伴う収益減少に加え子会社設立など今後の事業拡大に伴う人件費や諸経費等の増加並びに自社ソフトウェア開発に係る償却費の増加等による固定費が増加したことにより売上総利益は176,891千円（前年同四半期比9.5%の減少）、営業損失は、186,640千円（前年同四半期は、121,264千円の営業損失）、経常損失は、187,396千円（前年同四半期は、122,697千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、182,408千円（前年同四半期は88,233千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

受注面につきましては、通信システム・ソリューションにおいて、2019年6月5日付「大型受注に関するお知らせ」をリリースいたしました。大手通信事業者向け大型受注の獲得があったことに加え、エンタープライズ・ソリューションにおいて、大手企業向けにVOICEMARKの受注獲得等があったことにより、受注残高は1,521,519千円（前年同四半期比90.2%の増加）となりました。

なお、当社グループは、第4四半期連結会計期間に売上高及び営業利益が集中する事業特性を持っており、通期では期初の計画通りとなる見通しです。当第1四半期連結会計期間については計画段階から赤字を見込んでおり、ほぼ計画通りに進捗しています。

売上高	620,489千円	（前年同四半期比、8.8%の増加）
売上総利益	176,891千円	（前年同四半期比、9.5%の減少）
営業損失（△）	△186,640千円	（前年同四半期は、△121,264千円）
親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）	△182,408千円	（前年同四半期は、△88,233千円）
受注残高	1,521,519千円	（前年同四半期比、90.2%の増加）

当第1四半期連結累計期間におけるソリューション・サービス分野別の概況は、以下のとおりであります。

[通信システム・ソリューション]

通信事業者の大規模ネットワークで利用される通信システムのライセンス販売、SI、周辺アプリケーション、及びネットワークセキュリティ・コンサルティングサービスを提供。

- ・大手通信システム会社において、音声認識技術をサービス化する動きが引き続き活発。「LA-6000」と音声認識技術との連携による新たなサービス検討のコンサルティング支援・開発業務を実施。「LA-6000」をOEMで提供開始し初号案件を受注。
- ・ソフトウェアSBC「NX-B5000」の販売に関しては、継続的に新規案件を獲得。プッシュ通知機能においても充実化したことが評価され案件を受注。
- ・これまでの音声固定網が中心であった当社事業領域から一つのブレイクスルーとなる領域での大型案件を受注。
- ・5Gの本格運用に向け大手移動通信事業者へモバイルネットワークの仮想化ソリューションを販売。
- ・コールセンターではオムニチャネル化の動きが進んでおり、独自の音声認識マネジメントシステムをAI連携ソリューションとして開発着手。
- ・通信事業者が自身で法人顧客向けクラウドPBXサービスを展開する動きが継続。昨年受注した大手通信事業者向けの案件を売上計上。さらに、昨年受注した事例を踏まえて電力系通信事業者に同提案を実施し、今期案件を受注。
- ・2021年から開始されるIP-IP接続(IP-POI)ソリューションを積極的に提案。大手通信事業者において有償の実証試験も開始され今後本格的な案件獲得を目指す。
- ・住友商事株式会社のローカル5G(*)を活用した国内初の屋内外実証実験に、プロジェクトマネジメント・製品提供により参画。

以上の結果、通信システム・ソリューションの当第1四半期連結累計期間の売上高は、219,158千円（前年同四半期比20.5%の増加）となりました。

(*) ローカル5G

超高速かつ大容量の通信を実現する次世代通信技術である5Gを活用し、地域のニーズや産業分野の個別ニーズに基づき小規模な通信環境を構築。地域の課題へのきめ細やかな対応による地域活性化を目的として総務省によって制度化。

〔エンタープライズ・ソリューション〕

通信事業者以外の企業や官公庁に向けて、通信システムのライセンス販売、SI、周辺アプリケーション、及びクラウド/BPOサービスを提供。

- ・通話録音システムのニーズは引き続き拡大。複数の大手生命保険会社や銀行等より大型案件を継続して受注。
- ・RPAのWinActor®をパートナー経由で販売及び利用教育支援を提供。特に機械メーカーへの導入が進む。
- ・大手不動産会社がクラウド型コンタクトセンターのデータベース連携・電話機連携ソリューションとして「NX-C1000 for Enterprise」を採用。
- ・音声認識の月額BPOサービス「U³ COGNI」上でGoogle™の音声認識技術を利用した丸紅情報システムズ株式会社の「MSYS Omnis」（エムシス オムニス）を「U³ COGNI Omnis」（ユーキューブ コグニ オムニス）として提供開始し受注。音声認識ソリューションについては、企業のコンプライアンス強化・業務効率化の観点から引き合いが増加。
- ・子会社の株式会社LignAppsが、KDDI株式会社の法人向け「+メッセージ」配信サービス「KDDI Message Cast」と連携し、テキストや写真、動画などの送受信が可能なRCS（Rich Communication Services）の提供を開始。
- ・Affirmed Networks, Inc.とEPC（Evolved Packet Core）製品の販売代理店契約を締結し、モバイルネットワークの仮想化ソリューションを拡充。

以上の結果、エンタープライズ・ソリューションの当第1四半期連結累計期間の売上高は、160,065千円（前年同四半期比20.9%の増加）となりました。

〔保守サポート・サービス〕

通信事業者及びエンタープライズ向けに全国24時間・365日対応の保守サポート業務を提供。

- ・大型保守案件終了の影響大きく、その他保守契約の更新及び新規案件については堅調であったものの、売上は減少。
- ・サービス・メニューの充実・強化とともに、引き続きコストの効率化を推進。

以上の結果、保守サポート・サービスの当第1四半期連結累計期間の売上高は、241,264千円（前年同四半期比5.8%の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計年度末における総資産は、3,458,481千円となり、前連結会計年度と比べ214,720千円の減少となりました。増加の主な要因は、現金及び預金が309,455千円、製品が10,152千円、原材料及び貯蔵品が30,492千円、流動資産「その他」に含まれる前払費用が104,798千円、ソフトウェア資産が36,678千円（新規開発及び取得等により139,081千円増加、減価償却により102,403千円減少）増加したことによるものであり、減少の主な要因は、前連結会計年度末に計上された売掛債権等の回収により売掛金が706,345千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計年度末における負債の総額は、1,941,872千円となり、前連結会計年度と比べ39,746千円の減少となりました。増加の主な要因は、流動負債「その他」に含まれる未払金が13,935千円、前受金が158,244千円増加したことによるものであり、減少の要因は、買掛金が18,719千円、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が112,747千円、未払法人税等が25,183千円、流動負債「その他」に含まれる未払消費税等が57,716千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計年度末における純資産は1,516,609千円となり、前連結会計年度と比べ174,974千円の減少となりました。増加の要因は、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金が8,500千円それぞれ増加したことによるものであり、減少の要因は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が188,580千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

なお、業績予想につきましては、市場及び顧客動向を慎重に見極めながら計画の変更又は見直しを実施しておりますが、市場環境の急変により計画している受注状況が変化する可能性や顧客スケジュールにより案件の検収時期が変動し数値が大きく上下する可能性があるため、詳細な数値を算出することが困難であると考えております。したがって、通期のみレンジ形式による開示とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	949,368	1,258,823
売掛金	1,280,679	574,334
製品	60,356	70,508
仕掛品	23,773	30,285
原材料及び貯蔵品	101,138	131,631
その他	109,035	209,814
流動資産合計	2,524,351	2,275,399
固定資産		
有形固定資産	77,398	74,001
無形固定資産		
のれん	63,677	60,948
ソフトウェア	745,602	713,447
ソフトウェア仮勘定	175,458	244,290
その他	0	0
無形固定資産合計	984,737	1,018,687
投資その他の資産		
その他	88,015	91,657
貸倒引当金	△1,302	△1,264
投資その他の資産合計	86,713	90,393
固定資産合計	1,148,850	1,183,082
資産合計	3,673,201	3,458,481
負債の部		
流動負債		
買掛金	366,060	347,341
1年内返済予定の長期借入金	458,205	453,207
未払法人税等	28,246	3,062
受注損失引当金	—	600
その他	214,955	331,118
流動負債合計	1,067,468	1,135,329
固定負債		
長期借入金	882,991	775,241
資産除去債務	29,301	29,343
その他	1,857	1,957
固定負債合計	914,150	806,542
負債合計	1,981,618	1,941,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,557	554,057
資本剰余金	499,688	508,188
利益剰余金	612,152	423,572
自己株式	△231	△285
株主資本合計	1,657,166	1,485,532
新株予約権	26,547	25,480
非支配株主持分	7,868	5,596
純資産合計	1,691,583	1,516,609
負債純資産合計	3,673,201	3,458,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	570,299	620,489
売上原価	374,786	443,597
売上総利益	195,513	176,891
販売費及び一般管理費	316,778	363,532
営業損失(△)	△121,264	△186,640
営業外収益		
為替差益	—	368
未払配当金除斥益	—	128
雑収入	78	16
営業外収益合計	78	513
営業外費用		
支払利息	1,066	1,269
為替差損	440	—
その他	3	—
営業外費用合計	1,510	1,269
経常損失(△)	△122,697	△187,396
特別利益		
新株予約権戻入益	526	460
特別利益合計	526	460
税金等調整前四半期純損失(△)	△122,170	△186,936
法人税、住民税及び事業税	1,897	1,324
法人税等調整額	△35,833	△3,579
法人税等合計	△33,936	△2,255
四半期純損失(△)	△88,233	△184,681
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2,272
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88,233	△182,408

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△88,233	△184,681
四半期包括利益	△88,233	△184,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,233	△182,408
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△2,272

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。